

# 消防防災博物館

当博物館はインターネット上の仮想博物館です。建物は存在しません。

サイト内検索：

検索

見て学ぶ

調べる

東日本大震災

防災展示場

こどものひろば

イベント・掲示板

▶ 日本の火山・世界の火山

▶ 防災訓練映像紹介

▶ 防災まちづくり

▶ 消防防災に関する情報通信

▶ 防災センター

▶ 消防防災GIS

▶ 基礎知識

▶ 報告書・記録集

▶ 消防専門知識の提供

▶ 防災専門知識の提供

▶ 教材資料コーナー

▶ 法令を探す

▶ 火災・事故防止に資する防災情報データベース

▶ フリーワード検索

▶ 日本地図から検索

▶ 絞り込み検索

▶ 年度別優良事例リスト

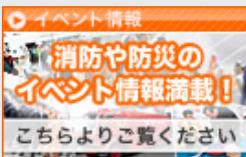


## 防災展示場

消防防災関連のアイテムを一堂に展示中！  
▶ すぐにアクセス

## 消防防災GIS

活用情報やQ&A等を掲載しています。地図データやバージョンアップ版のダウンロードもできます。



## 関連サイト

- » [総務省消防庁](#)
- » [防災・危機管理e-カレッジ](#)
- » [消防防災科学センター](#)

## お役立ちリンク

- » [法令を探す](#)

## 夜回り



塩坪少年消防クラブ（岡山県高梁市）

## 事例の概要

### <内容>

高梁市巨瀬町塩坪地区は、市の北部に位置し、平成15年9月現在69世帯がある密集地である。この地区は、1815年（文化12年）旧暦の2月15日に大火が発生し、塩坪の町並みが焼失、以後、火難防除を願い、地区内に火鋒様を建立し、2月15日をお祭り日とした。また、火災の原因は風呂焚きであったと伝えられており、この日を風呂をたかない日と定めている。このような時代背景があるため、同地区の防火意識はきわめて強く、日頃の防火活動も積極的である。

昭和17年1月の第二次世界大戦の最中、町内に小火が発生したことをきっかけに、数人の子供たちがみんなに役に立つことをしようと、夕方になると町内を「火の用心」と呼びかけて夜回りをはじめた。続いて、同年4月に塩

坪町内会に住む小学生に呼びかけて、小学校4年生以上の子供たちが1週間を7組に分けて毎日夜回りをはじめ、現在まで61年間続いている。途中、新制中学が作られ、小学4年生から中学3年の夏まで夜回りを続けるようになった。

近年においては、過疎の影響もあり子供の数が減少してきているため、幼稚園年長組から中学生までの混成チームをくみ、少人数グループで暑い日・寒い日に関係なく、毎夜、夜回りを行っている。



地域住民も参加しての消火訓練



地域住民も参加しての消火訓練



火鉢祭り



火鉢祭り



夜回り



夜回り

**苦労した点**

地域にいる児童たちの減少により、隊員の確保が困難であることから、少ない隊員で夜回りを継続しており、子供たちに負担がかかっている。

## 特徴

年間を通じて休むことなく防火を訴えており、防火思想の徹底が図られている。

## 団体概要

塩坪少年消防クラブ隊員：14名  
指導者：10名

## 実施期間

昭和17年～

[▲ページトップへ](#)